

新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素はひとかたならぬご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

『モダンメディア』は、昨年5月に通巻750号という記念すべき節目を迎えることができました。これは、ひとえに皆様からの60余年にわたるご支援、ご協力の賜物と深く感謝いたしております。

本年も、弊社では本誌の発行を継続するとともに、ヘルスケア（「臨床検査事業」、「食品・環境検査事業」）を通じて、人々の健康を守ることを経営理念とし、より高品質の製品および情報を提供しつつ、人々の健康に貢献したいと考えております。

臨床検査業界を取り巻く国内の経営環境は、高齢化の進展に伴う医療費抑制策により厳しい状況にあり、積極的な海外展開が求められています。弊社では、便潜血検査、免疫血清学的検査、尿検査、遺伝子検査の4つを海外展開の重点事業分野として、グローバル化を推進しつつ、国内での売上拡大にも力を注いでおります。

なかでも、主力の便潜血検査は、海外における国家スクリーニング獲得を目指した普及促進活動により、大きく伸長しております。また、発売55周年を迎えた尿検査用試験紙においては、業務提携会社の尿沈渣分野の強力な販売・サービスネットワークを生かし、尿検査分野グローバルNo.1を目指しております。さらに、遺伝子検査事業におきましては、2018年9月の国連総会結核ハイレベル会合にて、結核の終息に向けた政治宣言が採択されたことを受け、結核遺伝子検査法(TB-LAMP)の海外展開をさらに進めていく所存です。また、開発を進めてまいりましたLAMP法を用いた多項目検査チップは、薬事申請の段階にまで進んでおります。

このような事業活動に加え、3つの社会貢献活動にも取り組んでおります。1つ目として、学術情報誌『モダンメディア』の発刊があります。すでにご承知のとおり、本誌では、医学や公衆衛生学など多岐にわたる記事を専門の先生方にご執筆いただき、全国の医療機関や各種研究所・行政機関等の読者に毎月お届けしております。2つ目は、『公益財団法人 黒住医学研究振興財団』への助成です。同財団では、臨床検査、衛生検査およびこれに係る基礎医学に関する調査研究への助成及び研究業績に対する顕彰等を通じ、国民健康と福祉の向上に貢献しております。3つ目は、『NPO法人 ブレイブサークル運営委員会』のオフィシャルサポーターとして協力を行っております。同法人は、大腸がんでなくなる方を減らしたいと願い、大腸がん検診啓発活動として、全国都道府県及び市区町村への資材の無償提供やイベント支援ならびに全国意識調査等を展開しております。その一環として、昨年11月には、「Tokyo健康ウォーク2018」を東京都と共催いたしました。

さて、本誌恒例の新春放談2019年では、「人を取り巻く環境と人と動物の共通感染症の変化について」と題し、感染症の観点から動物、衛生昆虫およびジビエ等と人とのかわり方の変化や地球温暖化の影響について、熱くご討論いただきました。私たちの身近に起こり得ることであり、正しい知識を身につけ、環境の変化に対応することの大切さを痛感する昨今、感染対策の1つとして、じっくりとお読みいただきたいと存じます。

本年も、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様方にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成31年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

和田 守 史